

「実用的な軌道技術報告会」を開催しました

平成28年12月28日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「実用的な軌道技術報告会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成28年12月22日に、軌道技術分野の開発成果を関西地区の皆様にご紹介する事を目的として「実用的な軌道技術報告会」を大阪市内において開催し、鉄道事業者を中心に31社、112名の方にご参加いただきました。講演会では、軌道技術研究部長村本勝己による講演「コスト低減に向けた軌道技術の開発状況」を皮切りに、実用成果9件を紹介するショートプレゼンテーションを行いました。講演会に引き続いて成果展示会を行い、実物・模型・映像をご覧いただきながらより具体的に活用方法をご説明し、ご来場者と意見交換を行いました。

記

1. 開催日時：平成28年12月22日(木) 10時00分から15時30分

2. 場 所：毎日新聞ビル オーバルホール

3. プログラム

●講演会

「開会の挨拶」

事業推進部長

舘山 勝

(1) 「コスト低減に向けた軌道技術の開発状況」

軌道技術研究部長

村本 勝己

(2) 「レベルキーパー（浮きまくらぎ自動補正装置）」

軌道技術研究部長

村本 勝己

(3) 「レールの防食工法」

軌道技術研究部 軌道構造研究室 研究員

田中 俊史

(4) 「曲線外軌用新型熱処理レール」

材料技術研究部 摩擦材料研究室 副主任研究員

兼松 義一

(5) 「レールガス圧接バーナー自動揺動装置」

軌道技術研究部 レール溶接研究室 室長

山本 隆一

(6) 「生分解性ポリマーを用いた軌道補修方法」

軌道技術研究部 軌道・路盤研究室 副主任研究員

中村 貴久

(7) 「ラダー軌道」

鉄道力学研究部 構造力学研究室 副主任研究員

後藤 恵一

(8) 「レール波状摩耗の管理手法」

軌道技術研究部 軌道管理研究室 副主任研究員

田中 博文

(9) 「バラスト軌道の支持剛性評価装置」

軌道技術研究部 軌道・路盤研究室 研究員

谷川 光

(10) 「慣性正軌道検測装置と高頻度軌道検測支援ツール」

軌道技術研究部 軌道管理研究室 副主任研究員

坪川 洋友

●成果展示会

- (1) レールの防食工法
- (2) 曲線外軌用新型熱処理レール
- (3) レールガス圧接バーナー自動揺動装置
- (4) 生分解性ポリマーを用いた軌道補修方法
- (5) レベルキーパー（浮きまくらぎ自動補正装置）
- (6) ラダー軌道
- (7) 慣性正矢軌道検測装置と高頻度軌道検測支援ツール
- (8) レール波状摩耗の管理手法
- (9) バラスト軌道の支持剛性評価装置



写真 講演会の様子（於 オーバルホール）



写真 成果展示会の様子（於 オーバルホールロビー）